



100万人の隣人とつながろう! 自分が変わる1週間!

ちよだボランティアウィーク2008

企業CSR担当者によるパネルディスカッション

2009年大予想~CSRと社会貢献活動のこれからを展望する

12月4日(木) 16:00~17:30 西神田庁舎6階会議室

『2009年大予想~CSRと社会貢献活動のこれからを展望する』と銘打ったこの企画の最初のお話は、NPO法人アースデイマネーアソシエーションの嵯峨生馬氏によるアメリカ視察報告から始まりました。

はじめて聞く言葉も多かったようで、参加者の皆さんは熱心にそのお話に耳をかたむけていました。

【Pro-bono】

英語に直訳すると“For Good”。特に企業人や専門家(弁護士や会計士、コンサルタント等)が公益的な仕事をする時に使用されることが多い。



アメリカ視察の報告をする嵯峨生馬氏
(↑写真左男性)



ジブラルタ生命保険株式会社
石橋渡氏(↑写真左男性)

イオンフォレストザ・ボディショップ
藤田紀久子氏(↓写真右女性)



雑誌『オルタナ』編集長
森撰氏(↑写真左男性)

後半は嵯峨氏の他、雑誌『オルタナ』編集長森撰氏、イオンフォレストザ・ボディショップ藤田紀久子氏、ジブラルタ生命保険株式会社石橋渡氏を交え、パネルディスカッションを行ないました。

各企業CSR担当者の活動報告の後に、参加者から「大きな企業の大きな活動だけでなく、個人経営規模の会社でも社会に対して責任を果たすために何ができると考えるか」という質問に対し、「大きな企業であっても始めは身近なところから始めている。身の回りで起こっていることに敏感に反応し、そこで気がついたことから少しずつ始めていくのがよいのでは」という回答に、参加者のみなさんも考えさせられたようでした。